



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月4日

上場会社名 株式会社エフテック 上場取引所 東
 コード番号 7212 URL https://www.ftech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 祐一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 管理本部長 (氏名) 青木 啓之 TEL 0480-85-5211
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	130,701	△20.6	1,245	△57.0	320	△81.6	△2,090	-
2020年3月期第3四半期	164,685	△6.2	2,894	△37.4	1,739	△60.1	△725	-

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △2,032百万円(-%) 2020年3月期第3四半期 △1,435百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△112.20	-
2020年3月期第3四半期	△38.85	-

(注) 2021年3月期第2四半期より「役員向け株式給付信託」を通じて当社の株式を取得しており、当該信託が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	132,714	51,116	28.6
2020年3月期	134,038	54,292	29.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 37,909百万円 2020年3月期 40,136百万円

(注) 2021年3月期第2四半期より「役員向け株式給付信託」を通じて当社の株式を取得しており、当該信託が保有する当社株式は、四半期連結貸借対照表において自己株式として計上しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	10.00	-	10.00	20.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	184,000	△15.9	2,400	△41.3	1,900	△31.3	△800	-	△42.94

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 2021年3月期第2四半期より「役員向け株式給付信託」を通じて当社の株式を取得しており、当該信託が保有する当社株式を「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	18,712,244株	2020年3月期	18,712,244株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	128,901株	2020年3月期	33,801株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	18,629,323株	2020年3月期3Q	18,678,443株

(注) 1. 期末自己株式には、「役員向け株式給付信託」により当該信託が保有する当社株式（当第3四半期累計期間95,100株）を加算しております。

2. 期中平均株式数(四半期累計)は、自己名義所有株式分を控除する他、「役員向け株式給付信託」により当該信託が保有する当社株式(当第3四半期累計期間49,120株)を控除して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、景気は大幅に後退しました。経済活動の再開が段階的に進められ、一部地域ではワクチン接種が開始されましたが、新たに変異ウイルスが確認されるなど、収束が見通せない状況が続いております。

自動車業界においては、中国では正常化がいち早く進み、その他の地域でも夏場以降は持ち直しの動きは見られましたが、新型コロナ第3波の深刻化や足元では車載用半導体の不足の影響があり、先行きは不透明な状況が続きました。

こうした事業環境において当社グループは、本年度4月より第14次中期計画をスタートさせました。「Back to Basics」「Challenge for New」との基本方針は継続しながら、「限界突破!世界中のお客様へこだわりのBest Oneを」とのグローバル方針を定めました。新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、このグローバル方針の下、お客さまに対して新たな価値を提供すべく活動し、受注拡大に努めてまいりました。その結果、日本において重要な新規受注案件の獲得に繋げることができました。また、現在の厳しい企業環境に対処すべく、投資の最少化、各種改善活動、不要不急の経費の削減など、限界突破を目指して取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は130,701百万円(前年同期比20.6%減)、営業利益は1,245百万円(前年同期比57.0%減)、経常利益は320百万円(前年同期比81.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2,090百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失725百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

主要得意先からの受注台数は足元では回復基調ではあるものの、第1四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に伴う大幅な減少により、売上高は14,821百万円(前年同期比24.9%減)となりましたが、経費削減効果により営業損失は106百万円(前年同期は営業損失753百万円)となりました。

(北米)

主要得意先からの受注台数は足元では回復基調ではあるものの、第1四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に伴う大幅な減少により、売上高は80,073百万円(前年同期比20.8%減)、営業損失は1,032百万円(前年同期は営業利益314百万円)となりました。

(アジア)

主要得意先からの受注台数は、第2四半期連結会計期間以降急速に回復したものの、第1四半期連結会計期間における新型コロナウイルス感染症の影響に伴う大幅な減少により、売上高は35,806百万円(前年同期比18.4%減)、営業利益は2,701百万円(前年同期比13.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、機械装置及び運搬具等の減少により、前連結会計年度末に比べ1,323百万円減少し、132,714百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金等の増加により、前連結会計年度末に比べ1,852百万円増加し、81,598百万円となりました。

純資産は、利益剰余金等の減少により、前連結会計年度末に比べ3,176百万円減少し、51,116百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月6日付で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,879	5,684
受取手形及び売掛金	27,955	29,429
商品及び製品	6,389	5,965
仕掛品	4,026	4,197
原材料及び貯蔵品	8,677	8,182
その他	3,027	3,027
流動資産合計	58,956	56,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,205	16,718
機械装置及び運搬具(純額)	32,450	29,843
建設仮勘定	6,750	10,741
その他(純額)	11,308	10,649
有形固定資産合計	66,714	67,953
無形固定資産	363	335
投資その他の資産		
投資有価証券	5,960	6,219
その他	2,044	1,720
投資その他の資産合計	8,004	7,939
固定資産合計	75,081	76,228
資産合計	134,038	132,714
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,427	18,449
短期借入金	20,395	20,223
1年内返済予定の長期借入金	9,740	9,627
未払法人税等	500	604
役員賞与引当金	77	21
その他	7,271	8,387
流動負債合計	55,412	57,313
固定負債		
長期借入金	19,146	18,913
役員退職慰労引当金	126	54
退職給付に係る負債	1,050	1,004
負ののれん	50	46
その他	3,958	4,265
固定負債合計	24,333	24,284
負債合計	79,745	81,598

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,790	6,790
資本剰余金	7,230	7,236
利益剰余金	27,912	25,621
自己株式	△18	△64
株主資本合計	41,914	39,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	174	337
為替換算調整勘定	△1,657	△1,861
退職給付に係る調整累計額	△295	△150
その他の包括利益累計額合計	△1,778	△1,674
非支配株主持分	14,156	13,207
純資産合計	54,292	51,116
負債純資産合計	134,038	132,714

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	164,685	130,701
売上原価	149,798	119,140
売上総利益	14,887	11,560
販売費及び一般管理費	11,993	10,314
営業利益	2,894	1,245
営業外収益		
受取利息	55	48
受取配当金	41	30
持分法による投資利益	—	61
その他	131	148
営業外収益合計	229	288
営業外費用		
支払利息	824	608
持分法による投資損失	232	—
為替差損	249	552
その他	77	51
営業外費用合計	1,383	1,213
経常利益	1,739	320
特別利益		
固定資産売却益	8	13
補助金収入	—	1,572
投資有価証券売却益	—	6
その他	1	—
特別利益合計	9	1,592
特別損失		
固定資産売却損	3	12
固定資産除却損	33	66
新型コロナウイルス感染症による損失	—	2,558
特別損失合計	37	2,638
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,711	△724
法人税、住民税及び事業税	1,616	1,349
法人税等調整額	614	252
法人税等合計	2,231	1,601
四半期純損失(△)	△519	△2,326
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△725	△2,090
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	205	△235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	141
為替換算調整勘定	△1,052	△5
退職給付に係る調整額	112	141
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	15
その他の包括利益合計	△916	293
四半期包括利益	△1,435	△2,032
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,302	△1,987
非支配株主に係る四半期包括利益	△133	△45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に該当見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定については、重要な変更はありません。

なお、当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大に関連して、政府からの助成金1,572百万円を特別利益に、政府要請等による操業停止・縮小下で発生した固定費等2,558百万円を特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	19,740	101,091	43,853	164,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,411	1,152	2,055	11,620
計	28,152	102,244	45,909	176,306
セグメント利益又は損失(△)	△753	314	3,120	2,681

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,681
セグメント間取引消去	212
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,894

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	14,821	80,073	35,806	130,701
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,475	896	2,004	13,376
計	25,296	80,970	37,810	144,078
セグメント利益又は損失(△)	△106	△1,032	2,701	1,562

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,562
セグメント間取引消去	△317
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,245

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。